

第39回



寒地土木研究所講演会

～土木が創る魅力ある地域、心豊かな暮らしへ～

2025
11.6
THU

開 演 13:20 (受付開始 12:30)
パネル展 12:30 ~ 17:30
定 員 450 名
会 場 かでる 2・7
アスビックホール
札幌市中央区北2条西7丁目

会場アクセス



プログラム

program

特別講演

13:30 ~ 14:30

「土木 × 教育で創る北海道の未来」

～北海道開拓の初めに学校があった～
一般社団法人北海道開発技術センター地域政策研究所参事
認定 NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長
新保 元康 氏

一般講演

14:55 ~ 17:00

「社会構造の変化に対応した資源・資材活用・

環境負荷低減技術の開発」

土木研究所 先端材料資源研究センター (iMaRRC)

材料資源研究グループ長

新田 弘之

「積雪寒冷地の橋梁床版、道路舗装の

効率的な維持管理技術について」

寒地保全技術研究グループ長

島多 昭典

「地域社会を支える冬期道路交通サービスの

提供に関する研究開発」

寒地道路研究グループ長

松澤 勝

「気候変動下における水資源・水環境の

変化予測技術の開発」

水環境保全チーム 上席研究員

横山 洋

「水産王国・北海道の未来を担う漁場生産力の強化」

水産土木チーム 上席研究員

西崎 孝之

お申し込みは

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

寒地土研 イベント情報

で検索

スマホ・タブレットはこちらから

参加費無料!



本講演は、下記プログラムに認定されています。



(公社)土木学会継続教育 (CPD) プログラム

・認定番号: JSCE25-0995

・認定単位: 3.2単位



(一社)全国土木施工管理技士会連合会継続
学習制度 (CPDS) プログラム

CPDS プログラム登録番号 1010123

形態コード 101-1 分野 3unit

101-2 分野 1unit

(101-2 分野は年間上限 6unit)

4unit

参加者のみなさまへお願い

申し込み時のQRコード画像をスマートフォンに保存もしくは印刷してご持参願います。

ご来場のみなさまには下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- ・国や自治体の方針等により、急遽開催の中止や延期となる場合があります。
- ・事前申込をされずに来場された方は、受付にて申込み用紙に必要事項を記載の上参加してください。

お問い合わせ

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地技術推進室

TEL: 011-590-4046 平日/9:00 ~ 16:00 E-mail: lecture2025@ceri.go.jp

国立研究開発法人土木研究所 第39回 寒地土木研究所講演会

【特別講演】

「土木 × 教育で創る 北海道の未来」

～北海道開拓の初めに
学校があった～



一般社団法人北海道開発技術
センター地域政策研究所参事

認定NPO法人ほっかいどう学
推進フォーラム理事長

新保元康氏

北海道の未来を創る鍵は、土木と教育の融合にあります。最も困難だった明治期の開拓が学校づくりとともに始まったことに思いを馳せ、激しい人口減少に立ち向かうアイデアを考えます。

講演者 プロフィール

1958年 小樽市生
1982年 北海道教育大学札幌分校(小学校 社会)卒業
1982年 札幌市立八軒西小(5年)、厚別西小(3年)、幌西小(4年)、北海道教育大学附属札幌小(9年)、山の手南小(3年)で教諭として勤務
2006年 札幌市立新光小で教頭として勤務(2年)
2008年 札幌市立山の手南小(4年)、幌西小(3年)、発寒西小(2年)、屯田小(2年)で11年間校長として勤務
2019年 定年退職
2019年 一般社団法人北海道開発技術センター地域政策研究所 参事(現職)
2019年 特定非営利活動法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長(現職)

主な公的委員など

- 北海道教育委員会 学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー(2019年度～現在)
- 文部科学省ICT活用教育アドバイザー(2019～22年度)
- 学校DX戦略アドバイザー(2023年度～現在)

【一般講演】

「社会構造の変化に対応した資源・資材活用・環境負荷低減技術の開発」



土木研究所 先端材料資源研究センター 材料
資源研究グループ長 **新田 弘之**

人口減少・少子高齢化など社会構造の変化に対応した、建設発生材の再利用・地域資源の有効活用技術、カーボンニュートラル技術などの環境負荷軽減技術の開発に取り組んでいます。

「積雪寒冷地の橋梁床版、道路舗装の効率的な維持管理技術について」



寒地保全技術研究グループ長

島多 昭典

積雪寒冷地のインフラにおいて管理者ニーズの高い橋梁RC床版と舗装の劣化損傷対策を主な対象とし、効率的・計画的な維持管理の実現を目指している研究について報告します。

「地域社会を支える冬期道路交通サービスの提供に関する研究開発」



寒地道路研究グループ長

松澤 勝

広域分散・積雪寒冷な北海道の地域社会を支えるため、道路の雪処理や路面凍結対策など、安全で信頼性の高い冬期道路交通サービスの提供に資する研究に取り組んでいます。

「気候変動下における水資源・水環境の変化予測技術の開発」



水環境保全チーム 上席研究員

横山 洋

気候変動の影響評価は、水災害の激甚化のみならず、河川環境の重要な要素である河川水温や流況にも及びます。気候変動に対する水資源・水環境リスクを流域単位で予測するための河川水温・流量予測技術のほか、気温上昇が水環境に及ぼすリスク予測など、今後の適応策検討に向けての取り組みを紹介します。

「水産王国・北海道の未来を担う漁場生産力の強化」



水産土木チーム 上席研究員

西崎 孝之

北海道は国内漁業生産量の1/4を占める重要な拠点ですが、海洋環境の変化等に伴いその生産量は減少傾向にあります。水産資源の増大に向けた漁場生産力強化のための研究開発を紹介します。